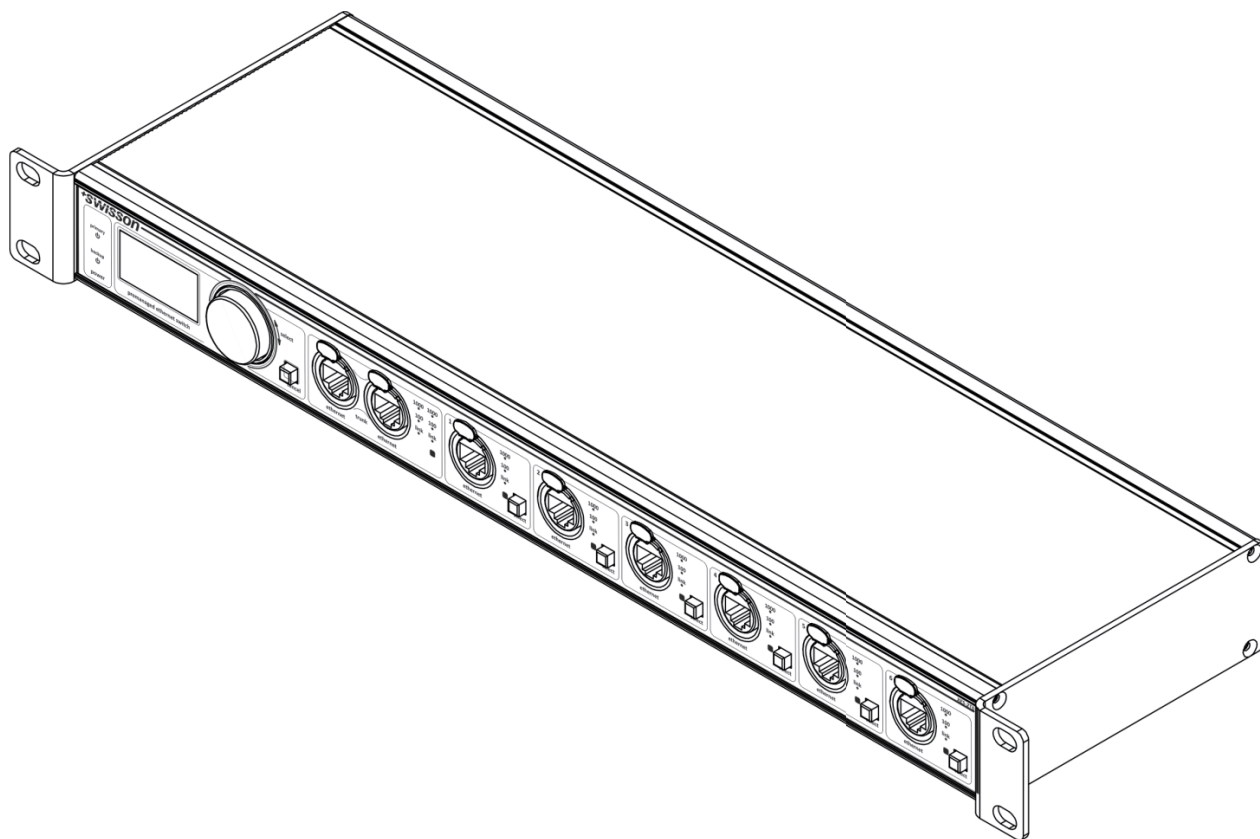


XES-2T6

マネージドギガビットイーサネットスイッチ



目次

目次	3
イントロダクション	4
使用上の注意	5
オーバービュー	7
セッティングとメニュー	11
スクリーンセイバー	16
ファームウェアの更新	16
テクニカルデータ	17

イントロダクション

XES-2T6 は、6 プラス 2 ポートのギガビットイーサネットスイッチで、2 つのポートが高スループットの冗長トランクリンクに集約されています。他の 6 つのポートは、互いに干渉しない完全に独立したネットワークに参加するグループ (IEEE 802.1Q VLAN) に個別に割り当てることができます。グラフィック OLED ディスプレイ、エンコーダーノブと 6 つの構成可能な各ポートのプッシュボタンのおかげで、スイッチはセットアップが直感的で、構成はすぐに完了します。

グループ化と冗長な高速バックボーンリンクにより、XES-2T6 は、たとえばステージと FOH を相互接続するための理想的なソリューションになります。

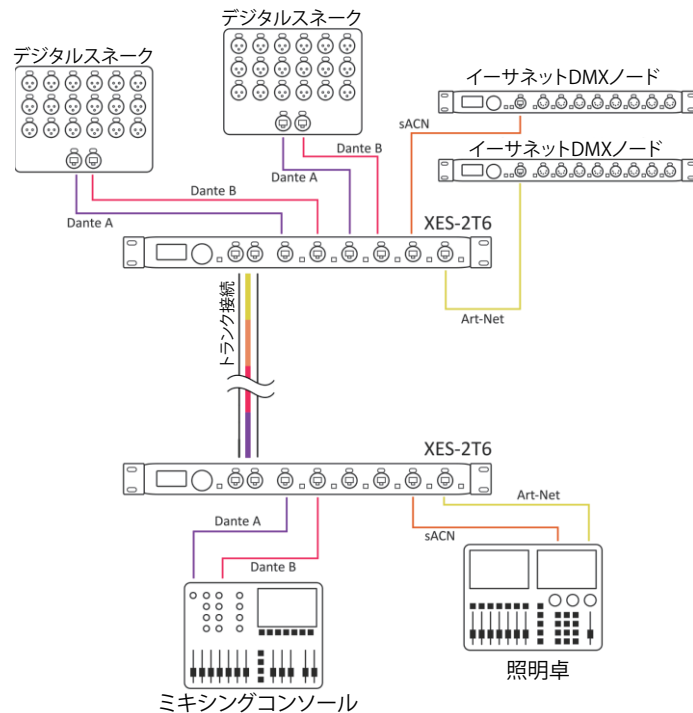
レイヤー 2 スイッチとして、XES-2T6 は一般にアプリケーションを認識しないため、TCP / IP 上で動作する任意のプロトコルおよび多くのイーサネットベースのプロトコルで適切に動作します。ただし、XES-2T6 が Art-Net、sACN、および Dante と完全に連携するように、特別な予防措置が講じられています。たとえば、Art-Net 仕様では、コントローラがデータを送信するのは数秒ごと、または更新が利用可能な場合のみであると想定されています。一般的なスイッチは、トラフィックが観測されない場合にスリープモードになりますが、XES-2T6 は 遅延なくいつでもデータを転送できるように待機しています。

TCP / IP およびイーサネットベースのプロトコルの受け入れが増加するにつれて、多くのショーでネットワークとそのコンポーネントの適切な動作が重要になっています。たとえば、舞台照明では、照明コントローラーから送信された制御データは、実際の器具に到達する前に少なくとも 1 つのスイッチを通過することがよくあります。そのため、ショーや現場のネットワークを専門的に計画、構成、インストールすることが重要です。ネットワークが停止する可能性をさらに低くするための手段として、XES-2T6 には、2 つの異なる主電源から電力を供給できる 2 つの独立したスイッチモード PSU が装備されています。

使用

- ◇ コンサート
- ◇ ライブイベント
- ◇ マルチメディアショー
- ◇ 劇場
- ◇ テレビスタジオ
- ◇ テーマパーク
- ◇ 建築照明
- ◇ ツアー / フェスティバル

使用例



使用上の注意

デバイスを操作する前にこのマニュアルを読んで理解し、XES-2T6 をセットアップ、接続、使用する際には、以下の指示に厳密に従ってください。このマニュアルに記載されていない方法または目的でデバイスを使用しないでください。

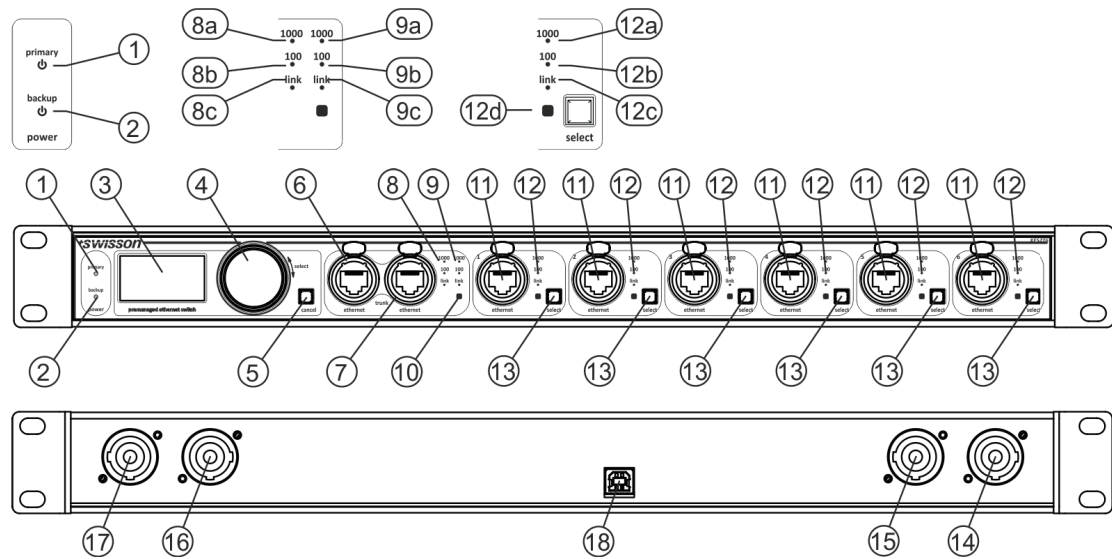
この製品は、業務用のみに承認されています。家庭用ではありません。このマニュアルに記載されているすべての警告に注意し、該当する法律および規制に従ってのみこのデバイスを使用してください。

安全に使用するために

- ◇ 使用していないときでも、ヒューズを含むカバーや部品を取り外す前に、AC 電源装置から装置を外してください。装置がアースに電氣的に接続されていることを確認してください。
- ◇ 地域の建物および電気に関する規制に準拠し、過負荷および地絡（地絡）保護の両方を備えた AC 電源のみを使用してください。
- ◇ デバイスを使用する前に、配電設備とケーブルが完全な状態であり、すべての接続されたデバイスに必要な電流定格であることを確認してください。
- ◇ 電源ケーブルまたは電源プラグが損傷しているか、欠陥があるか、濡れているか、または過熱の兆候が見られる場合は、すぐに電源装置からデバイスを取り外してください。
- ◇ デバイスを雨や湿気にさらさないでください。
- ◇ カバーやコンポーネントに欠損、破損、変形があった場合は、デバイスを使用しないでください。
- ◇ 本書に記載されていない保守操作は、Swisson 社または販売社に依頼してください。
- ◇ デバイスの周囲は空気の流れを妨げるような設置はしないでください。

- ◇ 周囲温度が 55 度を超える場合は、デバイスを使用しないでください。
- ◇ デバイスの換気スロットを覆わないでください。
- ◇ 本書に記載されていない方法でデバイスを改造したり、Swisson 社純正部品以外のものを取り付けたりしないでください。
- ◇ ヒューズをバイパスしないでください。欠陥のあるヒューズは、指定されたタイプおよび定格のもののみを交換してください。
- ◇ 装置を吊り下げるときは、支持構造と使用するすべてのハードウェアが、一緒に吊り下げられたすべての装置の重量の少なくとも 10 倍を保持できることを確認してください。
- ◇ 装置を吊り下げるときは、TÜV (German Technical Monitoring Association) などの公的機関によって承認された安全ケーブルなどの 2 次アタッチメントを取り付けます。安全ケーブルは、EN 60598-2-17 の 17.6.6 項に準拠していなければならない、装置重量の 10 倍の静的な吊荷重に耐えられなければなりません。
- ◇ 外部カバーと吊もの金具がしっかりと固定されていることを確認してください。
- ◇ 機器を設置、保守、移動するときは、作業エリアと安定したプラットフォームの下に十分なクリアランスを確保してください。
- ◇ 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- ◇ 「可燃性が高い」と考えられる場所では、デバイスを使用しないでください。

オーバービュー



1. メイン PSU のステータス LED
2. バックアップ PSU のステータス LED
3. OLED ディスプレイ
4. エンコーダノブ
5. キャンセルボタン
6. ギガビットイーサネットトランクポート1 ノイトリックイーサコン 1 Cat 5e RJ45 コネクタ
7. ギガビットイーサネットトランクポート2 ノイトリックイーサコン 1 Cat 5e RJ45 コネクタ
8. トランクポート1用接続ステータス LED
 - a.1000 Mbit/s アクティビティ LED
 - b.100 Mbit/s アクティビティ LED
 - c. リンク LED
9. トランクポート2用接続ステータス LED
 - a.1000 Mbit/s アクティビティ LED
 - b.100 Mbit/s アクティビティ LED
 - c. リンク LED
10. トランクポート用グループカラー LED
11. 6 x ギガビットイーサネットノイトリックイーサコン Cat 5e RJ45 コネクタ
12. イーサネットポート用接続ステータス LED
 - a.1000 Mbit/s アクティビティ LED
 - b.100 Mbit/s アクティビティ LED
 - c. リンク LED
13. ポート選択ボタン
14. メイン PSU のループスルー用ノイトリックパワコンアウトプット
15. メイン PSU 用ノイトリックパワコンインプット
16. バックアップ PSU のループスルー用ノイトリックパワコンアウトプット
17. バックアップ PSU 用ノイトリックパワコンインプット
18. ファームウェアアップデート用 USB タイプ B コネクタ

電源の接続

適切な電源ケーブルを使用してください。電源ケーブルを建物の電気設備に配線し、装置の近くで容易にアクセスできる電源オン/オフスイッチを用意するか、または電源プラグの製造元の指示に従い、地域に適した接地タイプ（アース付）メインプラグを電源ケーブルに取り付けてください。

異なる主電源を使用する必要はありません。ただし、2つの主電源を同じ XES-2T6 に接続することにより、2つの主電源のアース導体が短絡することに注意することが重要です。適切な設置について疑問がある場合は、資格のある電気技師に相談してください。

XES-2T6 の電源入力ソケットで電力を供給するには、青色のノイトリックパワコン NAC3FCA ケーブルマウントコネクタを使用する必要があります。

警告！ 危険な感電を防ぐためには、装置をアースする必要があります。ローカル AC 電源には、過負荷および地絡（アースフォルト）の両方の保護を供給する必要があります。

重要！ ノイトリックパワコンコネクタは、緊急事態を除いて、電源に接続されている間に接続または切断しないでください。コネクタが損傷する恐れがあります。

バックアップ電源

デバイスには2つの組み込み PSU があります。両方の PSU が主電源に接続されている場合、プライマリ PSU がデバイスに電力を供給している間は、バックアップ PSU はスタンバイモードになります。プライマリ PSU に障害が発生した場合、バックアップ PSU はただちにデバイスへの電力供給を開始します。

電源出力口

警告！ XES-2T6 の各 AC 主電源コンセントの負荷は、19.8 アンペアを超えてはなりません。

○XES-2T6 を AC 主電源に接続し、他のデバイスを電源コンセントに接続するには、このマニュアルの安全に関する指示のセクションで指定されている要件を満たす電源ケーブルを使用する必要があります。

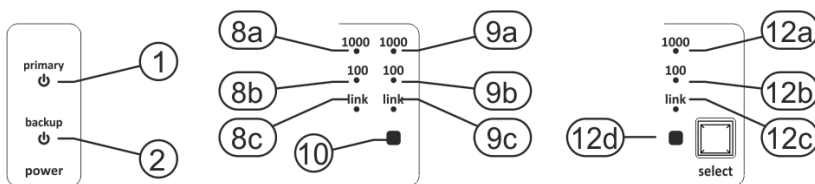
○XES-2T6 の電源コンセントから AC 主電源を引き出すには、ライトグレーのノイトリックパワコン NA3FCB ケーブルマウントコネクタを使用する必要があります。

○AC 主電源の電圧に関係なく、XES-2T6 のいずれかの電源コンセントから AC 主電源を引くすべてのデバイスの電流は、合計 19.8 アンペアを超えてはなりません。この 19.8 アンペアはプライマリ PSU からの出力を使用した配線時のもので、バックアップ PSU からの出力からも 19.8 アンペアを引ける可能性があります。

ネットワークコネクタとケーブル

すべてのネットワークコネクタは、ノイトリックイーサコン Cat 5e RJ45 コネクタです。これらのコネクタは、標準の RJ45 プラグで使用できます。より良い固定のために、ノイトリックイーサコンプラグ付きのケーブルを使用できます。ギガビットイーサネット (1000BASE-T) の動作には、Cat5e (またはそれ以上) のケーブルが必要です。100 Mbit / s (100BASE-TX) には少なくとも Cat5 ケーブルが必要です。10 Mbit / s (10BASE-T) の場合、Cat3 ケーブルで十分です。最大許容ケーブル長は 100m です。

ステータス LED



XES-2T6には、各ネットワークポートのツリーステータスLED (8a～c、9a～c、12a～c)に加えて、番号付きのイーサネットポート (12d) のグループカラーLEDと、トランクポート (10) のグループカラーLEDがあります。

さらに、各電源のステータスLEDもあります。プライマリ PSU のLED (1) とバックアップ PSU のLED (2) は、それぞれの PSU が主電源から給電され機能していることを示します。

リンクLED (8c、9c、12c) は、それぞれのネットワークポートがネットワーク接続を確立すると点灯します。100 Mbit / s アクティビティLED (8b、9b、12b) は、対応するポートが 100 Mbit / s で動作しているかどうかを示します。100 Mbit / s 接続が確立されると、これらのLEDはそれぞれのポートのアクティビティも表示します。ポートにアクティビティが多いほど、対応するLEDが一瞬オフになる頻度が高くなります。ギガビットイーサネット接続が確立されると、1000 Mbit / s アクティビティLED (8a、9a、12a) が点灯し、ギガビットイーサネットリンクの場合にポートアクティビティを表示します。

グループ (IEEE 802.1Q VLAN)

6つの番号付きイーサネットポート (11) のそれぞれは、最大 30 の構成可能なグループ (IEEE 802.1Q VLAN) のいずれかに割り当てることができます。グループの構成については、12ページのグループの追加、削除、編集で説明しています。

XES-2T6では、各グループにラベルと色があります。グループは、VLAN ID (1～4094の数字) によって一意に識別される独立したネットワークを形成します。ユーザーがグループを簡単に識別できるように、ラベルはメニューとホーム画面に表示されます。グループの色は、スイッチが正常に動作しているときに、そのグループに割り当てられたイーサネットポートのグループカラーLEDが点灯する色を決定します。これにより、イーサネットポートのグループ割り当てをすばやく識別できます。

6つの番号の付いたイーサネットポートはグループに割り当てるか、インタースイッチポートとして構成できますが、2つの集約トランクポートはインタースイッチポートとして永続的に構成されます。インタースイッチポートのグループカラーLEDは、通常の操作では白く点灯します。

構成可能なグループの1つに割り当てられている XES-2T6 のイーサネットポートに送信されているネットワークトラフィックは、同じグループ（一意の VLAN ID で識別される）に割り当てられているポートにのみインタースイッチポートとして構成されたポートへ転送されます。XES-2T6 のインタースイッチポートから送信されるトラフィックには、VLAN タグが添付されます。XES-2T6 のインタースイッチポートから送信されるトラフィックには、VLAN タグが添付されます。VLAN タグには、設定可能なグループの1つに割り当てられたポートを介して XES-2T6 に到着した場合に、発信元のポートに関連付けられた VLAN ID が含まれます。

インタースイッチポートを介して XES-2T6 に到達したパケットが到着時にタグ付けされた場合、最初にタグ付けされたのと同じ VLAN ID で XES-2T6 から送信されます。このようなパケットは、すべてのインタースイッチポートと、パケットのタグの VLAN ID に構成されているポートに転送されます。タグなしパケットが XES-2T6 のインタースイッチポートに到着した場合、パケットは XES-2T6 のデフォルト VLAN ID であるタグ 1 でタグ付けされ、その後、VLAN ID 1 が添付されたパケットがインタースイッチポートに到達したかのように扱われます。

XES-2T6 がスイッチポート（トランクポートとも呼ばれる）で送信するすべてのパケットには VLAN ID のタグが付けられているため、コンピュータ、ミキシングコンソール、調光卓などのエンドデバイスはこのデータを通常処理できないことに注意してください。これらのデバイスは、構成可能なグループに割り当てられたポートに接続する必要があります。したがって、これらのポートはアクセスポートとも呼ばれます。

一方、トランクポートまたはインターインタースイッチポートは、IEEE 802.1Q VLAN 標準と互換性のあるスイッチを相互接続するために使用されます。これにより、グループまたは VLAN（仮想 LAN）によって形成されたネットワークが複数のスイッチにまたがることができます。

トランクポート

2つの集約されたトランクポート (6) および (7) は、1つの論理ネットワークリンクを形成します。2つのトランクポートが別の互換性のある集約されたイーサネットポートのペア、通常は 2 番目の XES-2T6 のトランクポートに接続されている場合、リンクは単一のイーサネット接続と比較してスループットが向上します。さらに、2本のケーブルのいずれかに障害が発生した場合、すべてのトラフィックは、残りの機能しているケーブルを介して自動的にルーティングされます。トランクポート (6) または (7) の一方は、2つの集約されたトランクポートのもう一方が未接続のままの場合、XES-2T6 を非集約イーサネットポートに接続するためにも使用できます。

DiffServ ベース QoS

スイッチは、Dante プロトコルを使用した最適な Quality of Service (QoS) に必要な次のキュー割り当てを使用して、4つのキューで Differentiated Services (DiffServ) を実装します：

- ◇ DSCP (Differentiated Services Code Point) CS7 (0x38) のトラフィックはキュー 1 に割り当てられます。
- ◇ DSCP EF (0x2E) のパケットはキュー 2 に割り当てられます。
- ◇ DSCP CS1 (0x08) のパケットはキュー 3 に割り当てられます。
- ◇ 他のすべてのトラフィックはキュー 4 によって処理されます。

キュー 1 は、他のすべてのキューよりも厳密に優先されます。同様に、キュー 2 はキュー 3 および 4 よりも完全に優先されます。キュー 3 および 4 はラウンドロビン方式で断続的に処理されます。キュー 3 は 2 回処理され、キュー 4 は 1 回処理されます。

無制限ブロードキャストトラフィック

デバイスは、許可されるブロードキャストトラフィックの量を制限しません。 Art-Net 1 などの一部のプロトコルはブロードキャストメッセージに大きく依存しているため、これは重要です。

データ転送への待機

Art-Net のような一部のネットワークプロトコルでは、散発的にのみ更新を送信できます。したがって、XES-2T6 は、ネットワークトラフィックがまったく観察されていない場合でもスリープモードになりません。しばらくトラフィックが沈黙した後更新が送信された場合、XES-2T6 はどのような場合でも遅延なしにデータを転送できます。

セッティングとメニュー

ジェネラルナビゲーション

エンコーダーノブは、メニューをナビゲートするための主要な手段です。ほとんどのメニューはアイテムを垂直に並べています。これらのメニューで、エンコーダーを時計回りに回して現在選択されている項目の下の項目を選択するか、エンコーダーを反時計回りに回して現在選択されている項目の上にある項目を選択します。アイテムを水平方向（テキストフィールド等）に配置するメニューでは、時計回りは「右へ」を意味し、反時計回りは「左へ」を意味します。

それ以外に、エンコーダーホイールはプッシュボタンとしても機能します。通常、このボタンは、選択を確定したり、選択したサブメニューに移動したりするために使用します。このマニュアルでは、エンコーダーホイールを押すことを「OK を押します」または「OK ボタンを押します」とも表記します。

エンコーダーノブの右側には、[キャンセル] ボタンがあります。このボタンは、一般に選択を解除したり、メニューを終了したりするために使用されます。

[キャンセル] ボタンを 2 秒以上押し続けると、いつでもホーム画面に移動できます。ホーム画面から、OK ボタンを押すだけでメニューが起動します。

次の表記法は、メニュー内の場所を説明するために使用されます：Home> Menu> Sub menu> ...

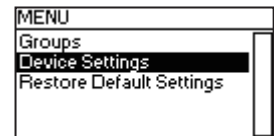
たとえば、メニューには「Home>Menu>Device Settings」と表示されます。これは次のように読むことができます。ホーム画面に到達する為に、キャンセルを 2 秒間押し続けます。

XES-2T6		
1 INTER SW.	2 ACCESS	3 ACCESS
ALL	0007 LIGHT C...	0008 SACH
4 ACCESS	5 ACCESS	6 ACCESS
0009 ART-NET	0005 DESK R...	0009 ART-NET

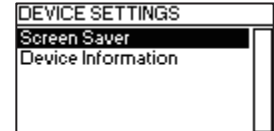
OK を押し Menu に入ります。

MENU
Groups
Device Settings
Restore Default Settings

「Device Settings」をエンコーダホイールで選択します。



もう一度 [OK] を押して選択を確認すると、デバイス設定メニューの 2 つの項目が表示されます。



ホームスクリーン

XES-2T6					
1 INTER SW	2 ACCESS	3 ACCESS			
ALL	0007 LIGHT C...	0008 SACH			
4 ACCESS	5 ACCESS	6 ACCESS			
0009 ART-NET	0005 DESK R...	0009 ART-NET			

ホーム画面にはタイトル XES-2T6 が表示され、下の領域は 6 つのセルにより構成されます。各セルには、関連付けられた番号付きイーサネットポートの番号が表示されます。ポート番号の横の小さなテキストは、「INTER SW」または「ACCESS」です。対応するポートが別の IEEE 802.1Q 対応スイッチに接続されるように構成されている場合は「INTER SW.」と表示され、ポートがエンドデバイスを接続するように構成されている場合は「ACCESS」が表示されます。インタースイッチポートとアクセスポートの違いの詳細は 9 ページの「グループ (IEEE 802.1Q VLAN)」に記載されています。

ポートがアクセスポートとして設定されている場合、ホーム画面の対応するセルには、そのポートに関連付けられた VLAN ID が 2 行目と一番下の行に表示され、グループラベルの先頭が表示されます。

インタースイッチポートに関連付けられたセルは、それらのポートがすべてのグループ (任意の VLAN ID) を通過および受信することを示すために、左下に「ALL」を表示します。

イーサネットポートの設定

番号付きイーサネットポートを設定するには、7 ページの⑬のポート横にあるボタンを押します。その後、以下に示すように、選択したポートの設定画面がディスプレイに表示されます。

Port 3	
Inter Switch Port	(ALL)
• Control	(1)
Dante A	(2)
Dante B	(3)
Amp Control	(4)

ポートをスイッチ間ポートとして使用する場合は、エンコーダを使用してグループをハイライト表示させるか、一番上の項目を選択します。適切な項目がハイライトされたら、エンコーダーノブを押して (OK を押して) 設定を適用します。

グループの追加、削除と編集

グループの追加

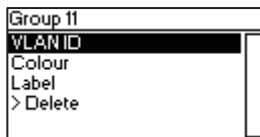
Groups	
sACN	(8)
Art-Net	(9)
Video	(9)
> Add Group	

グループ構成メニューは、「Menu>Group」の下にあります。そこで、エンコーダーノブを使用して「>Add Group」というラベルが付いた一番下の項目を選択し、OK を押して新しいグループを追加します。

XES-2T6 は最大 30 グループをサポートします。合計 30 個のグループが存在する場合、グループの 1 つが削除されるまで、「>Add Group」メニュー項目は消えます。

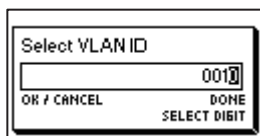
グループの編集と削除

グループを編集するには、Menu> Group の下のグループ設定メニューでエンコーダーノブを使用してグループを選択し、OK を押します。OLED ディスプレイに、下図のグループ構成メニューが表示されます。

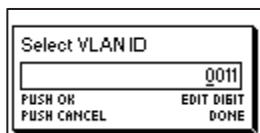


VLAN ID の編集

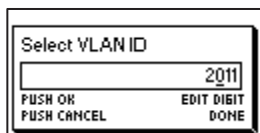
VLAN ID を編集するには、一番上の項目「VLAN ID」をハイライトさせて OK を押します。その後、エンコーダーホイールを使用して最後の桁を編集できます。編集された数字が 0 のときにエンコーダーホイールを反時計回りに回し続けると、編集された数字は 9 にロールオーバーし、1 が数字から左に減算されることに注意してください。同様に、右側の数字は、ポジティブロールオーバーで増加します。



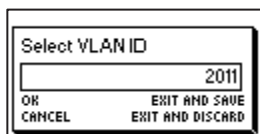
完了したら、または別の数字を編集する必要がある場合は、OK または Cancel を押します。



これで、エンコーダーホイールを使用して、編集する別の数字を選択できます。OK を押して、上記のようにその数字を編集します。完了したら、もう一度 Cancel を押します。



正しい番号が表示されたら、もう一度 Cancel を押します。



次に、OK を押して編集した番号を適用するか、Cancel を押して変更を破棄します。

グループカラーの変更

Colour を選択し、OK を押してグループの色を変更します。色の選択が表示されます。現在設定されているグループの色は、左側に箇条書きでマークされています。このメニューは OLED ディスプレイに表示されますが、すべてのグループカラー LED は現在ハイライトされている色で点灯します。OK を押して、編集中のグループの色設定をその色に変更します。

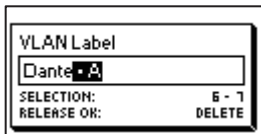
ラベルの編集

Label を選択し、次で説明されているテキストの編集をするために OK を押します。

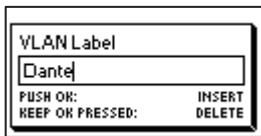
テキストの削除



テキスト行またはその一部を削除するには、削除する最初の文字のすぐ左にカーソルを置きます。

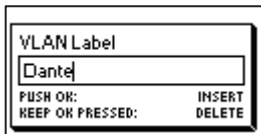


次に、OK を押したまま、削除するテキストがすべてハイライトされるまでエンコーダーを時計回りに回します。

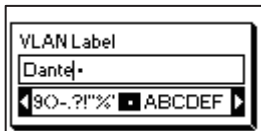


OK ボタンを離すとハイライトされたテキストが削除されます。

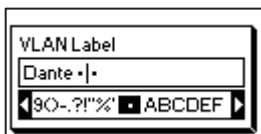
テキストの挿入と追加



テキストを追加または挿入するには、テキストを追加する位置にカーソルを移動させます。



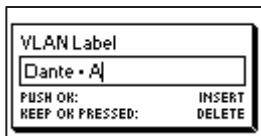
OK を押し、追加する文字を選択します。



OK を押し、セレクションを確定させます。



上記のステップを繰り返し文字を入力します。Cancel を押し文字の挿入を終了します。



Cancel を再度押し、エディターを終了させます。



OK を押し変更を保存するか、Cancel を押して変更を破棄します。

グループの削除

グループ設定メニューのエンコーダーホイールで「>Delete」を選択し、エンコーダーノブを押してグループを削除します。

デバイスの設定と情報

スクリーンセイバー

Screen Saver の下に、次のオプションを含む選択リストが表示されます；

- ◇ Enable: スクリーンセイバーを有効にします。
- ◇ Disabled: スクリーンセイバーを無効にします。

現在アクティブな設定の横に箇条書きが表示されます。エンコーダーホイールを使用して目的の設定を選択し、OK を押し設定を適用します。

スクリーンセーバーの動作の詳細については、15 ページのセクション「スクリーンセーバー」を参照してください。

デバイスの情報

デバイスに関する次の情報は、Home> Menu> Device Settings> Device Information で利用できます。

Model

デバイスモデルは XES-2T6 になります。

Boot Software

ブートソフトウェアのバージョンをフルナンバーで表示します。

Firmware

ファームウェアのバージョンをフルナンバーで表示します。

Hardware

ハードウェアのバージョンです。

デフォルトセッティングのレストア

デフォルト設定は、Home> Menu> Restore Default Settings で復元できます。このメニューでは、すべての設定の復元を続行するかどうかを尋ねられます。OK を押して確認するか、Cancel を押して中止します。

この機能はすべての設定をデフォルトに復元します。

- ◇ 番号付きのイーサネットポートはすべて、VLAN ID 1 の「Control」というラベルが付いたグループのアクセスポートとして設定されます。
- ◇ スクリーンセーバー：有効
- ◇ 以下のグループが定義されています：
 - Control：VLAN ID 1、ロイヤルブルー
 - Dante A：VLAN ID 2、パープル
 - Dante B：VLAN ID 3、ピンク
 - Amp Control：VLAN ID 4、ダークブルー
 - Desk Remote：VLAN ID 5、オレンジ
 - Radio：VLAN ID 6、レッド
 - Light Console：VLAN ID 7、オリーブ
 - sACN：VLAN ID 8、オレンジレッド
 - Art-Net：VLAN ID 9、イエロー
 - Video：VLAN ID 10、ライトグリーン

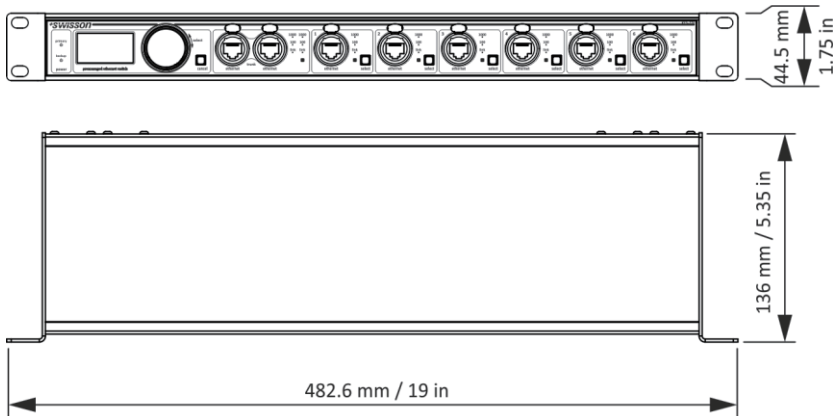
スクリーンセイバー

スクリーンセーバーが有効になっている場合、製品の耐久性を向上させるために、40 秒間ユーザーからの入力を受信されないと、OLED ディスプレイは自動的にオフになります。ディスプレイがオフになったら、任意のボタンを押すか、エンコーダーホイールを任意の方向に1ユニット回すと、再びオンにできます。スクリーンセーバーは、14 ページの「デバイスの設定と情報」のサブセクションのスクリーンセーバーで説明されているように、Home> Menu> Device Settings> Screen Saver で有効または無効にできます。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新は、Swisson の Web サイトの製品ページで提供されます。ファームウェアを更新するには、Windows (Vista 以降) を搭載した PC と USB A to B ケーブル (USB プリンターケーブル) が必要です。製品のファームウェアを更新するプロセスの詳細については、製品の Web ページでも提供されている個別のドキュメントを参照してください。

テクニカルデータ



環境温度：-30℃~55℃

AC パワー：100~240V 50/60Hz

消費電力：10W

イーサネット（全ポート）：1000BASE-T / 100BASE-TX、オートネゴシエイト、オート MDI-X

イーサネットポート：6 + 2

イーサネットスイッチタイプ：レイヤ2 イーサネットスイッチ

アドレスルックアップエンジン：4000 エントリー

パケットバッファ：192 kbytes

Art-Net/sACN キャパシティ：1000 の同時ユニバース²

Dante キャパシティ：48KHz で方向ごとに最大 128 チャンネル²

寸法と重量

奥行：136 mm

幅：482.6 mm

高さ：44.5 mm

重量：1.7 kg

² このアプリケーションでは全帯域幅が利用可能であると仮定して推定してください。

この文書のいかなる部分も、Swisson AG の書面による事前の許可なく、複写や記録を含む電子的または機械的な手段を問わず、複製または送信することはできません。

本書に記載されている情報は、直接的または間接的にいかなる種類の保証もなく提供されており、事前の予告なしに変更されることがあります。

本書に記載されている情報は、直接的または間接的にいかなる種類の保証もなく提供されており、事前の予告なしに変更されることがあります。

Swisson、その従業員または指定された代理人は、本書に記載された製品の直接的または間接的な結果として生じたソフトウェア、ハードウェア、またはデータへの損害について一切責任を負いません。

30.11.2018

SWISSON AG
Fabrikstrasse 21
CH-3250 Lyss
Switzerland

SWISSON of AMERICA Corp.
2419 East Harbor Blvd.#3
Ventura, CA 93001
U.S.A

(株) スペース・エンジニアリング・ワークス
〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 523
ジョイフル中川 101
Tel: 03 5292 2380 Fax: 03 5292 2382
sew@sew-net.co.jp

welcome@swisson.com